

考える市民を育てる言語教育：問い生成先行型の読解/聴解と、複数テキストの認知的統合

日時：令和6(2024)年2月29日(木) 13:30～16:30

会場：国立国語研究所3階セミナー室, Web開催(Zoom)

参加費：無料

定員：対面30名、オンライン150名(先着、要事前申込)

講座概要

現代社会には解決すべき社会的課題が山積しています。言語教育の一環として社会的課題の解決を目的とした読解活動や聴解活動を推進し、問題解決能力を高めるためには、どのような思考スキルが重要でしょうか。

本講座では、このような思考スキルを学ぶための「しかけ」を提案します。特に、1) 解決のために答えねばならない具体的な問いを生成する「問い生成先行型読解/聴解」と、2) 多様な視点を与え、創造的かつ批判的な思考力を高める「複数テキストの認知的統合」に焦点を当て、その理論的背景と具体的方法について、ワークショップも取り入れながら参加者のみなさんとともに考えていきたいと思ひます。中上級が主な対象になりますが、初級においても考え方をとり入れたタスク設定は可能です。

スケジュール

※当日、進行の都合で変更することがあります。

講師：松下 達彦(国立国語研究所 研究系 教授)

13:30-14:15	講義・ペアワーク	1. 「考える市民」を育てるための創造的思考と批判的思考 2. なぜ問い生成先行なのか 3. 複数テキストの認知的統合とは
14:15-14:20	休憩	
14:20-15:10	ワークショップ	1. 問い分類またはキーワードマッピング 2. 追加読解/聴解 3. テーマディスカッション&リサーチ
15:10-15:20	休憩	
15:20-15:40	ワークショップ	4. ユニット統合シート記入
15:40-16:30	振り返り共有とディスカッション、まとめ	

※ 当日取り上げる予定のテキストの一部を事前配布し、予習課題をやってから参加していただきます。予習課題は、指示に従ってキーワードや問いを産出する課題が一つと、2～3ページの読解素材を二つ読んで1ページのワークシートに取り組むことです。1時間程度でできると思ひます。

※ 事前課題に取り組む時間のない方のために、会場を12:30から開放します。そこで取り組んでくださっても結構です。

※ 当日、会場で参加する方とのやり取りを優先しますが、オンラインでもブレイクアウトセッションでグループワーク等を行っていただきます。

※ 当日、会場で参加する方も、できればノートパソコンを持参してください(必須ではありません)。グループワークの結果をGoogleドライブを使用して、当日、オンライン上で共有する予定です。

申込み方法

国立国語研究所HPからお申込み下さい。
(締切:2月22日(木))



《主催・問い合わせ先》

国立国語研究所 管理部 研究推進課 NINJAL日本語教師セミナー(国内)担当

TEL:042-540-4489 (平日9:30～17:00)

E-mail: ninjal-events@ninjal.ac.jp